

笑顔いっぱい・幸せいっぱい 森山っ子だより

令和5年6月10日(土) No.3

原田小学校、特別活動 ～ソーシャルスキルトレーニング～

10日(土)に原田小学校の特別活動を参観してきました。指導者1人と全校児童42名で～自分の気持ちを相手に伝えるスキル～としての子ども達の気持ちや考えと動きを学ばせて頂きました。今回は、5・6年生に焦点を当ててSSTを行ったそうです。

①アイスブレイクでは、3人の人とジャンケンをしてアイコになったらハイタッチをして座る。というゲームを行い、どの子も積極的に動いてジャンケンをしていて、アイコと言うこともあり、嫌な気持ちになる姿が見られないのとジャンケンする相手がなかなかみつからない子も「もうやらない。」と言う子もいなく最後までやり通していました。

②スキルを理解するでは、4場面でのアイメッセージを自分なりの言葉で考えて書いていました。1・2年生は先生方の手伝いをお願いしながらも短い言葉で書いていました。例えば、①あそぶやくそくしているのにやくそくをやぶられたでは、「あそんでくれるとうれしい。」高学年になると、「わたしは、約束していたから遊んでくれたらうれしい。」と書いていました。

③リハーサルでは、全員で実演する前に4年生の男子2人組に全児童の前で、②そうじをいっしょうけんめいしてくれない。の見本をしてもらった。そうすることで、他の学年の児童が“こんな風にしたらいんだ”というのが分かり、実際に演じる時間では、積極的に2人組を作ってお互いに考えた台詞を言い合う姿が見られました。下学年は、書いた物を読み合う感じでしたが、高学年になると気持ちが入ったり、いつもけんかしている相手とペアになり恥ずかしい表情を見せながらも最後までしっかりとアイメッセージを伝えていたので嬉しい気持ちになったと教頭先生からも話が聞けました。

④フィードバックでは、ふりかえりを「一では嫌な気持ちだったけど、2回目はうれしい気持ちになりました。」と、自分の気持ちを自分の言葉でたくさん書いていました。

⑤決意表明では、ふりかえりを書いてから赤色鉛筆を持って、いろんな人とふりかえりを伝え合って、違う意見やこれいいなと思う意見を紙に書き、それから「わたしは、こうしていきたい。」と決意表明を書いていました。

全体の感想として、授業のはじめから子ども達が先生の話静静地に聞く姿勢が身に付いていたり、分からないことがあると自分で聞いていたり、何人組を作りましょう。とか、いろんな人と意見交換しましょう。と言われたら積極的に動く子どもたちの姿が見られました。この落ち着いて自分に自信のある行動ができるまでにどのようなことをされているか訪ねたところ、「毎日、健康観察の時に自分の気持ちを色やバロメーターで表している。」ということと「原田小学校独自の30ルールを作っている。」ことを教えて頂きました。30ルールは、頂いてきたので、今度の研修でご覧頂きたいと思います。

学級活動(2) 学習指導案(略案)
～自分の気持ちを相手に伝えるスキル～

指導者 浦元 康

全校児童 42名

ねらい 自分や友達の気持ちに気付き、適切な自己表現の仕方を考え、異年齢児童と交流する活動を通して、身に付けたソーシャルスキルを適切に実践しようとする態度を育成する。

	学習活動	子どもの反応	指導上の留意点
導入	1 【アイスブレイク】 ・ バランスゲーム ・ じゃんけんゲーム	・ 今日は何をするんだろう。 ・ 緊張がとけたな。	・ 全校児童が発言しやすい雰囲気づくりをする。
	2 【課題】を受け止める	・ けんかや言い争いが生まれてしまう。 ・ 友達に自分の気持ちを伝えるのが苦手。	・ アンケート結果から自分の気持ちをうまく伝えられなかった経験を想起させる。
	3 【めあて】を立て、学習活動を確認する 相手のことを考えて自分の気持ちを伝えよう	・ 今日のは気持ちの使い方について勉強するんだ。	・ 困り感からめあてを提示する。
	4 【スキル】を理解する ・ ワークシートにスキルについてまとめる。 ・ 具体的場面におけるIメッセージについて考える。	・ Iメッセージというスキルがあるんだ。 ・ ちくちく言葉とは、違う言い方だな。	・ Iメッセージについて説明する。 ・ 「ぼくは」、「私は」から始まるIメッセージをワークシートに書くことができるように支援する。 ◇ 自己表現の仕方考えることができる。
展開	5 【モデリング】 ・ 教師が代表児童と一緒にSSTの手本を見せる。	・ SSTの活動の仕方がわかったぞ。	・ ちくちく言葉を言った直後にIメッセージを使い、比較できるようにする。
	6 【リハーサル】 ・ モデリングの活動をペアで実践したあと、他の相手とも交流する。	・ Iメッセージで言われると嫌な気持ちがないな。 ・ Iメッセージを使うと気持ちが軽くなる。	・ どんな気持ちになったかを問い返すことによって、自分の気持ち気付かせる。 ◇ 友達と積極的に活動することができる。
	7 【フィードバック】 ・ リハーサルの活動について振り返る。	・ ○○さんは、今日の授業でIメッセージを使ってみたと思ったんだ。	・ リハーサルをした感想や気付きをワークシートにまとめる。 ・ まとめた内容をグループで交流した後、全体で共有する。
終末	8 【決意表明】 ・ ワークシートに振り返りを書く。	・ 今までは、けんかが起きていたけどIメッセージを使ってみてみたいな。	・ 今までの自分と比較して、これからの行動について考えさせる。 ◇ 身に付けたソーシャルスキルを適切に実践しようとしている。

【評価】

自分や友達の気持ちに気付き、自己表現の仕方を考え、異年齢児童と交流する活動を通して、身に付けたソーシャルスキルを適切に実践しようとする態度を育成することができたか。

【準備物】

・ ワークシート ・ 掲示用スキル ・ 大型TV ・ アンケート結果

めあて

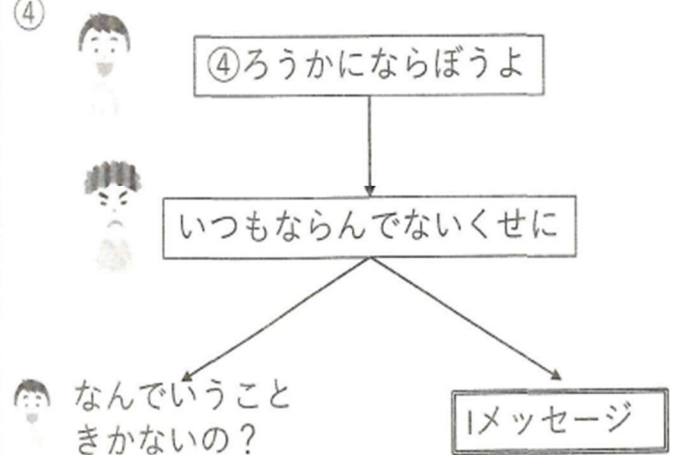
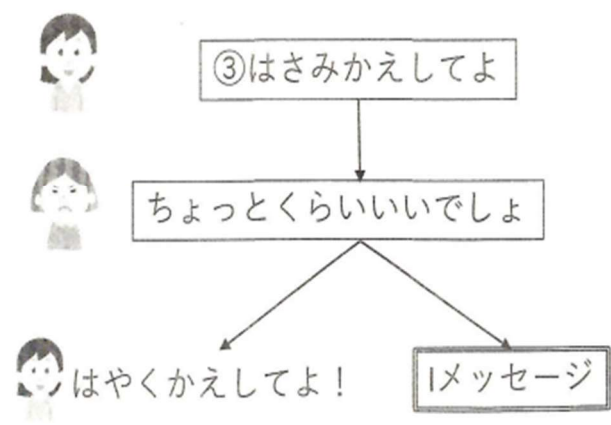
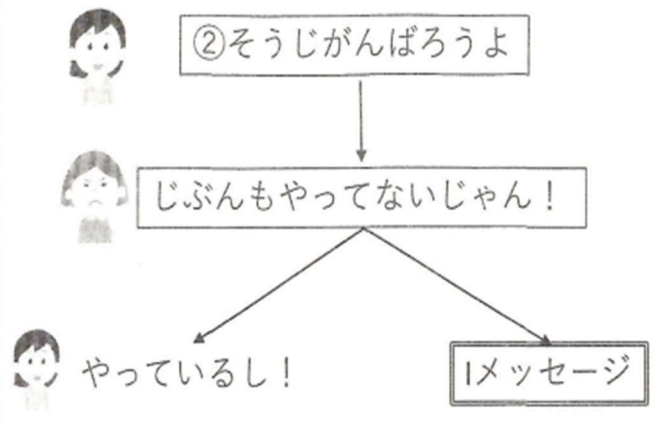
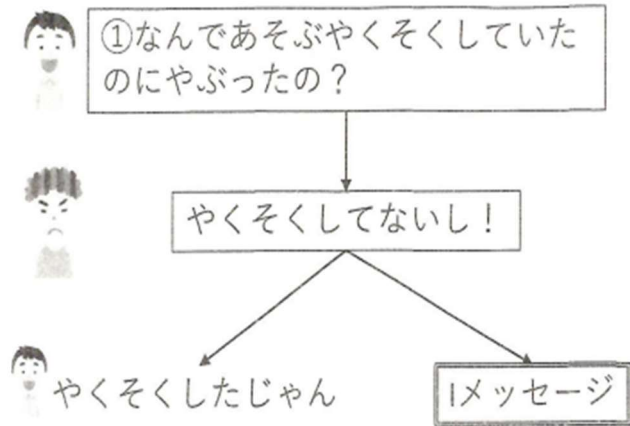
なまえ
名前 ()

() . . .

	ぼめん	アイメッセージ
	じゅぎょうでうるさい	しずかにしてくれたらわたしはうれしいな、うるさくしててわたしはしんぱいだな
①	あそぶやくそくをしているのにやくそくをやぶられた	
②	そうじをいっしょうけんめいしてくれない	
③	かってにはさみをつかわれた	
④	はやくろうかにならんでほしい	

ふりかえる (トレーニングをしてみよう)

◎けつひょうめい



全校一斉学活指導案

活動日：1学期（7月10日〈月〉朝の活動1校時 8：30～9：35 65分）

ねらい：いろいろな友達と話す機会をもち、班の友達と協力して活動する。

自分の紹介ができる。

過程		活動内容	担当	時間	指導上の留意点	準備物
導入	アイスブレイク	1 ゲーム	西丸	5	○ だれとでも楽しく取り組むように指導する。	鉛筆 たんけんボード
	ふれる	2 先生の話	小園	5	○ 「すまいるタイム」の活動の紹介をする。 ○ めあてを確認する。 ○ グループ発表をする。	めあてカード ホワイトボード
みんなの♡がこもった、かっこいい森山応援旗を作ろう！						
展開	活かす・味わう	3 グループに分かれて自己紹介	百野	10	○ 学年・名前・今日の朝ご飯など、簡単な自己紹介にし、話すことが苦手な子どもも無理なく取り組めるようにする。	
		4 グループの名前を決めよう	徳丸	15	○ 班の友達の笑顔を見たり話をしたりして、自分たちの班にふさわしい名前を話し合っ決めてるように指導する。また、なぜその名前にしたのか、理由まで考えるように指導する。 ○ 名前が決まったら発表する。	
	ふかめる	5 力を合わせてかっこいいぞ！（旗のデザインを考えよう！）	齋藤大野	25	○ どんな絵を描くかグループで話し合う。 ○ それぞれのグループで旗を作る。	白布2枚 油性マジック （布用絵の具）
週末	シェアリング	6 ふり返り	校長 教頭	5	○ 班の友達と協力できたか聞く。 ○ 頑張った自分・友達を紹介させる。	
		7 先生の話	小園	5	○ 次の活動について話す。	

評価：いろいろな友達と話す機会をもち、班の友達と協力して活動することができたか。

自分の強みを見つけ、友達に紹介し、強みを活かした活動ができたか。